



赤いくつ

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-52-2
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

令和元年度の活動方針

本年はナルク創立25周年です。そしてナルク横浜は来年、25周年を迎えます。「自立・奉仕・助け合い、そして生きがい」の理念を実現し、皆さんがナルク会員で良かったと実感できるナルクを作りましょう。活動方針へ血液を流しましょう。



「会員増強を進める」

担当：内田 成孝

拠点会員数が500人を切った現在、総力を挙げて会員増を目指す。

1) 新入会員の増強(会員拡大)

友達作戦・会員が会員入会勧誘を実施するためのツール作戦展開
(新パンフレットの活用)

2) 地域での広報

各地区市民活動支援センター、地域包括支援センター、地区社協などと連携を深め、
広報誌・機関紙、行事、チラシスタンドの活用を図る。
ボランティア募集HPに募集の広報を掲載する。(横浜市・神奈川県)

3) ホームページの刷新

「ナルク横浜」HPに「会員募集のページ」を新設、スマホ対応のHPを採用

4) 活動会員の増強・活動機会の開拓(新たな活動場所、活動内容)

各ブロックの会員拡大 ブロック長・委員の活動会員増強への取り組み
社会奉仕活動の開拓と「ナルク活動グループ構成」とのコーディネート



「組織を支える人材育成や運営の見直し」

担当：増原 恵輔

本年度は、昨年度に積み残した「人材育成、組織運営の問題点の解決」を方針の一つとして
具体的には次のような問題の解決を目指します。

1) 拠点三役、事務局の役割、業務分担の見直し

2) 研修の充実 新任運営委員懇談会、活動グループ別交流会の新設

3) コーディネーター業務の共通化や後継者育成 など

1) については事務局長の現行の業務内容の分析や拠点三役の役割の見直しに取り掛かり

2) については「年間研修計画」を作成済みです。また昨年度新設したナルク横浜運営規則
「拠点リーダー層の交代ルール」の適用、即ちリーダー層交代実現への具体的な活動を開
始します。

本年度も「わかりやすい組織と運営」「活力のある組織と運営」を目指しています

7月末会員数：493名、(男性：203、女性：290)

項目 ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間点数	
		6月	7月	6月	7月
北	163	184	188	226	95
湘南	77	46	40	180	61
西	189	349	313	275	120
中央	64	102	112	134	36
合計	493	681	653	815	312



やさしさも楽しさもある
ナルク横浜

交流会あれこれ

北ブロック

6月に初企画、「長津田の街を歩こう」を実施。緑区ガイドボランティアさんの丁寧な案内で、1時間半ほど歩きました。長津田は江戸時代後期 大山街道の宿場町として栄え、江戸赤坂から大山迄18里(70km)の中間の所だそうです。又旧鎌倉街道、神奈川道も通り、交通の拠点でした。昭和初期には養蚕も盛り、生糸の生産地としても栄えました。

市街地を出ると緑も多く、路傍には石碑や野仏・常夜灯等が残り、往時が偲べれます。神社・仏閣も多く、領主の菩提寺「大林寺」は見応えがありました。知らないことを多く知り得た心とむウオークでした。



湘南ブロック

前年12月に会員皆で新年度の交流会計画を企画しますが、5月にはパイロット万年筆の見学を行いました。1本100万円もする万年筆、小泉総理大臣が使用の同等品も見学、そして、10万円もする万年筆で試し書きもさせていただきました。

6月には平塚七夕飾り製作を通じて交流会を開催し、延べ34名が106時間を掛けて製作に携わってくださいました。

8月には、かねて希望の多かった「初心者マージャン教室」を交流会として開催しました。

昼食は、会員から提供された野菜でカレーを手作りして、味を堪能し、盛り上がりました。



西ブロック

西ブロックの7月交流会は「映像を楽しもう」＝「モグラの話」講師はブロック運営委員の内田成孝さん。

普段の生活では「モグラ」を見ることはまれですが、家庭菜園などをやっていたら出会いがあるらしい。

モグラの生態を観察したビデオで、初めて見る「モグラ」の生き生きした様子に、参加者は「ホー、ヘー」と感心しきり。

そして参加者の高橋裕さんから専門的(?)な立場で一枚の資料「生物群集の模式図」に基づき説明があり、二人の話の内容は紙面の都合で紹介できませんでしたが、「もぐら」の生態を知る上でも、また、普段と違ったテーマでの交流会も面白い事を発見した定例会でした。



中央ブロック

4月交流会は昨年同様「里山ガーデン散策」、手入れの行き届いた花壇をめぐり楽しいひと時を過ごしました。

5月17日には中央ブロック最大のイベント行事「ほどがや花フェスタ」に出展、会員から提供いただいたクリスマスローズ、バラ、ダイヤモンドリリーなどを販売するとともに出展目的であるナルク横浜のPRに努めました。

また5月例会では僧籍をお持ちの日小田玄正会員から「人が変わる 人を変える」と題する「四国八十八箇所歩き遍路」の経験談を、予め準備いただいた貴重な資料をもとに「仏教に疎い」

我々にもわかりやすくお話いただきました。



新入会員のひとこと

湘南ブロック

石原 祖子

本年5月に平塚のボランティア交流会があり、棟保さんがNALCの紹介発表する場でお会いしました。私は60代の頃、社会福祉協議会の研修会でさわやか財団の「ご近所の助け合い」を学んでいました。この助け合いを組織化して25年活動している皆様から学ばせていただける幸せを感じています。

早速7月6日の平塚七夕祭り広域交流会に声をかけていただき、人間性豊かな皆様と触れ合うことが出来ました。又次のお誘いもあり、楽しみにしております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

西ブロック

井上 千江子

健康のため毎日近くの公園で早朝のラジオ体操をしています。体操後に歌もうたっています。両親も他界し、何か人のために出来る事はないかと探していました折、体操仲間の高見沢さんにナルクを紹介していただきました。

総会にも参加させていただき、素晴らしい会があるものだと思います。皆さん優しく笑顔で迎えてくれて、とても嬉しかったです。今までやりたかったコーラスのグループ「ららの会」にも入り、楽しみが出来ました。これからは先輩方を見習って頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

だれかの笑顔のために

60歳定年とともに市民農園をお借りして野菜作りを始めて、はや17年になります。収穫した野菜はご近所さんに貰っていただいていた。勿論、ブロック交流会の景品になる事もあります。そんな中、市民活動センターで「フードバンク」というボランティア団体に出会いました。

企業や団体そして有志の協力を得て、生活に困っている方々に食料や食材を届けているとの事。あるご家庭にポテトチップスをお届けした時、「ワ～、ポテトチップスが食べられる！」お母さんとその子供さんが大喜びされた」と聞かされて、とっさに私にもできる事がある！と。



畑で育てたタマネギやニンジン、そしてジャガイモ・キュウリ・トマトなど早速段ボールに詰めて「フードバンク」に届けました。

収穫のたびにその一部を届け続けようと思っています。どこかのだれかの笑顔のために・・・！

湘南ブロック M

ナルク横浜の成年後見

ナルクの成年後見ってメリットあるの？

後見人会 棟保 禎彦

- ① 将来のために成年後見人が必要と考え始めた時、あなたが相談する相手は弁護士？市や区の窓口？社会福祉協議会？地域包括支援センター？どこがいいの？どこにあるの？費用は大丈夫？迷いますね。ナルクなら事務所や後見人会担当者への電話一本で相談に乗ってくれます。
- ② 相談相手を信じていいの？何もしてくれないのに毎月お金だけとられるなどの報道があります。ナルクはそんな心配無用。ナルクは法人組織なので複数の担当者が相互にチェックします。さらにこれまでナルク活動で知り合った仲間が、組織として培った様々な地域連携ネットワークと協力して対応してくれます。



<どんなことでも一人で悩まず、まず相談>

ご希望の方はナルク横浜事務所(045-719-5001)あるいは福江宛での電話(090-7736-8092)へどうぞ。こちらからの折り返しの電話で、具体的な相談日程を確認します。

